

議案第8号

朝来市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
朝来市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を別紙のとおり定める。

令和4年3月2日提出

朝来市長 藤 岡 勇

提案理由要旨

年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律（令和2年法律第40号）の制定によって一部改正された消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律（昭和31年法律第107号）が令和4年4月1日から施行され、傷病補償年金等を担保とする貸付事業が廃止されることに伴い、所要の条例整備をしようとするものです。

朝来市条例第 号

朝来市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

朝来市消防団員等公務災害補償条例（平成17年朝来市条例第236号）の一部を次のように改正する。

第3条第2項ただし書を削る。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に担保に供されている傷病補償年金又は年金である障害補償若しくは遺族補償を受ける権利は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後も、なお従前の例により担保に供することができる。
- 3 年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律（令和2年法律第40号）附則第70条第1項及び第71条第1項に規定する申込みに係る傷病補償年金又は年金である障害補償若しくは遺族補償を受ける権利は、施行日以後も、なお従前の例により担保に供することができる。

議案第 8 号資料

朝来市消防団員等公務災害補償条例新旧対照表

| 現 行 | 改 正 案 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>第 3 条 非常勤消防団員又は非常勤水防団員は、その身分を失った場合においても、損害補償を受ける権利を変更されることはない。</p> <p>2 損害補償を受ける権利は、譲り渡し、担保に供し、又は差し押さえることはできない。<u>ただし、傷病補償年金又は年金である障害補償若しくは遺族補償を受ける権利を国民生活金融公庫又は沖縄振興開発金融公庫に担保に供する場合は、この限りでない。</u></p> | <p>第 3 条 非常勤消防団員又は非常勤水防団員は、その身分を失った場合においても、損害補償を受ける権利を変更されることはない。</p> <p>2 損害補償を受ける権利は、譲り渡し、担保に供し、又は差し押さえることはできない。</p> |